



2019年8月9日

各 位

会 社 名 **藤 久 株式会社**
FUJIKYU CORPORATION
 代 表 者 名 代表取締役社長 後藤 薫徳
 (コード：9966 東証第一部・名証第一部)
 問 合 せ 先 常務取締役総務部、人事部担当
 樹神 雄二
 (TEL 052-774-1181代表)

特別損失（減損損失）の計上及び2019年6月期通期業績予想と実績の差異
 並びに役員報酬減額の内容変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり特別損失（減損損失）の計上を行うことを決議いたしました。これに伴い、2019年2月12日に公表しました2019年6月期通期（2018年7月1日～2019年6月30日）の業績予想と本日公表の実績値に、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

また、2019年2月12日付で開示しました役員報酬減額の内容を変更することを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社の保有する資産において、収益性の低下による減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき固定資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当社が保有する固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、13億17百万円を特別損失（減損損失）に計上いたしました。

2. 2019年6月期通期業績予想値と決算値との差異（2018年7月1日～2019年6月30日）

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	19,253	△ 1,183	△ 1,173	△ 1,644	△ 391円00銭
決 算 値 (B)	18,939	△ 1,532	△ 1,516	△ 2,919	△ 694円42銭
増 減 額 (B-A)	△ 314	△ 349	△ 343	△ 1,275	—
増 減 率 (%)	△ 1.6	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2018年6月期)	20,170	△ 772	△ 762	△ 1,540	△ 366円32銭

3. 差異の理由

当社では、会社の収益力を回復させ、業績の回復を図ることを目的に、当期初より、役員の出退店政策の見直し、戦略推進プロセスの仕組み化などの「構造改革」に取り組んでまいりました。店舗販売部門におきましては、会員制度の見直しやオムニチャネルの構築などにより、会員数及び来店客数の増加に取り組んでまいりました結果、セール期間中の売上目標をほぼ達成するなど、一定の成果は得られ、下期は、既存店売上高前年比が98.8%まで挽回いたしました。2019年2月12日の業績予想の修正時に目標とした、前年比101.0%には及びませんでした。また、来店客数の増加を主目的とした施策や積極的な在庫処分を推し進めたため、想定以上の売上総利益率の低下につながり、販売管理費の節約に努めましたものの、営業損失及び経常損失も前回予想を下回りました。さらに、上記1の特別損失（減損損失）を計上したことにより、当期純損失は前回予想から赤字幅が拡大することとなりました。

4. 役員報酬の減額の変更について

当社は、この度の特別損失の計上及び当期純損失の計上を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、2019年2月12日付「役員人事及び役員報酬減額に関するお知らせ」で開示しました、役員報酬減額の期間を以下のとおり変更し、延長することとしましたのでお知らせいたします。

当初の対象期間：2019年1月から6月まで

変更後の対象期間：2019年1月から9月まで

参考：2019年6月現在の役員報酬減額内容

役職	減額割合
代表取締役（1名）	月額報酬の40%減額
常務取締役（1名）	月額報酬の15%減額
常勤取締役（3名）	月額報酬の10%減額

なお、2019年10月以降の役員報酬については、現在検討を進めております。

以上